



茂吉カフェ

秋の特別展「斎藤茂吉——そのひとすぢの道」の開催に合わせ、展示では紹介しきれない茂吉の素顔について各専門家を招いてお話を伺います。お茶を楽しみながら、偉大な歌人と称される斎藤茂吉のフモール（ユーモア）溢れる人物像に触れてみませんか。

①ふしぎでヘンな

茂吉の歌

日時：11月7日（木）10:00～11:00

ゲスト：梶原さい子氏（歌人）

駒田晶子氏（歌人）

梶原さい子（かじわら さいこ）

宮城県気仙沼市生まれ。高校教員。1997年、「抒情文芸」にて河野裕子に出会い、歌を詠み始める。「塔短歌会」所属。現在編集委員。歌集に『ざらめ』（青磁社）、『あふむけ』（砂子屋書房）、『リアス／椿』（砂子屋書房／第11回葛原妙子賞）がある。第29回現代短歌評論賞、第1回塔短歌会賞、平成26年度宮城県芸術選奨受賞。

駒田晶子（こまだ あきこ）

福島県福島市生まれ。桐朋学園大学短期大学部芸術科音楽専攻卒業。「夏の読点」で第49回角川短歌賞受賞。歌集に『銀河の水』（ながらみ書房／第53回現代歌人協会賞、第17回ながらみ書房出版賞）、『光のひび』（書肆侃侃房）がある。平成20年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。「心の花」所属。

②食いしん坊茂吉

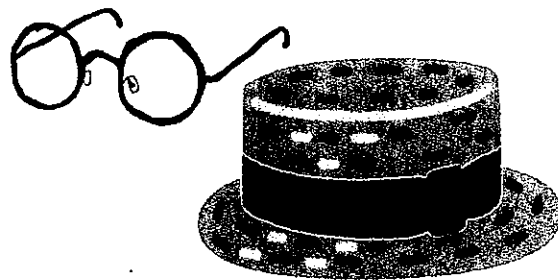
日時：11月21日（木）10:00～11:00

ゲスト：大本泉氏

（仙台白百合女子大学教授）

大本泉（おおもと いずみ）

宮城県仙台市生まれ。日本女子大学大学院博士課程修了。日本ペンクラブ会員。著書に『名作の食卓——文学に見る食文化』（角川学芸出版）、『作家のごちそう帖』『作家のまんぶく帖』（平凡社新書）、編著に『日本語表現 演習と発展』（明治書院）、『小説の処方箋』『神経症と文学——自分という不自由』（鼎書房）、共著に『日本女子大学に学んだ文学者たち』（翰林書房）、『永井荷風——仮面と実像』（ぎょうせい）など多数。



どちらも聞き手：本多真紀（仙台文学館学芸員）

会場：仙台文学館内喫茶 ひざしの杜

定員：20名

参加費：700円（喫茶代）*ご参加には展示観覧券の半券（または未使用券）が必要になります。

申込方法

往復はがきに、イベント名、お名前、住所、電話番号をご記入の上、仙台文学館へ。はがき1枚に1イベント1人のお申込み。締切は①は10月23日（水）、②11月6日（水）それぞれ必着。応募多数の場合は抽選になります。